

2026年
9月号

協会けんぽNEWS

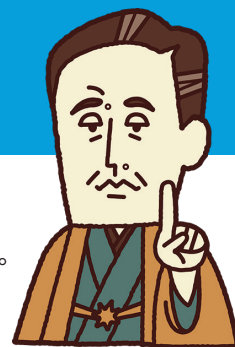


給付金を申請される方へ

記入前にチェック!給付金申請書の注意点

令和8年1月から申請書（1ページ目）の様式を**変更**しています。

記載内容などに不備がある場合は、書類をお返しして補正をお願いするため給付金支払いの遅れにつながります。特に記入誤りの多い点についてご紹介します。申請時にご注意ください。



1 (左詰め)	番号 (左詰め)	生年月日
記号・番号		1.昭和 2.平成 3.令和
個人番号 (マイナンバー)		
氏名 (カタカナ)		
2 氏名		
郵便番号 (ハイフン除く)	電話番号 (左詰めハイフン除く)	
住所	郵便 向 差	

1 記号・番号を記入された場合は 個人番号（マイナンバー）は記入不要です。

※個人番号（マイナンバー）を記入された場合は、本人確認書類等の添付が必要となります。

ご自身の記号・番号は、「マイナポータル」の健康保険証情報や「資格情報のお知らせ」、「資格確認書」よりご確認ください。

2 申請者は、お勤めされている(いた)被保険者本人になります。

特に、高額療養費や療養費では受診された方(扶養者)を記入する誤りが多いためご注意ください。

3	公金受取口座の 利用について	1.希望する 2.希望しない
		「1」を選択された場合は、事前にマイナポータル等にて公金受取口座として登録した金融機関の口座へお振込みしますので、以下の振込先情報のご記入は不要です。
	公金受取口座の利用について「2.希望しない」を選択された場合は、上記申請者氏名と同じ名称の口座をご記入ください。	
	金融機関名称	銀行 金庫 信託 農協 協同
	支店名	本店 支店 代理店 出張所 法務部 営業部 本所 支所
	預金種別	1 普通預金
	口座番号 (左詰め)	

3 事前にマイナポータル等で公金受取口座の登録がお済みの方は「1.希望する」をご記入ください。

公金受取口座とは？

給付金などを受け取るための口座として、あらかじめ国（デジタル庁）にマイナポータル等で登録を行った口座です。過去に協会けんぽからの給付金のお振込みを行った口座のことではありませんのでご注意ください。

→ マイナポータル等で登録情報をご確認のうえ、公金受取口座の利用についてご記入ください。

公金受取口座登録状況の確認方法

マイナポータルより

おかけ → 公金受取口座

にてご確認ください。

公金受取口座の確認、
変更はこちら
(マイナポータル)



! 結婚等による氏名変更や金融機関コードや支店コードに変更があった場合は、マイナポータル等から変更手続きが必要となります。

長野支部と一緒に健康経営優良法人2027を目指しましょう!

健康経営優良法人認定制度とは

健康経営®に取り組む企業等を「見える化」し、社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的に日本健康会議が認定する顕彰制度です。

※「健康経営」は特定非営利法人健康経営研究会の登録商標です。

健康経営優良法人の申込の流れ※

申請期間：8月17日(月)～10月中旬

STEP
1

サイトをチェック!

「ACTION!健康経営」ポータルサイトより申込ページへ

STEP
2

申請書をアップロード!

必要書式をダウンロードし、自社の取り組み状況を入力し、アップロード

※健康経営優良法人中小企業部門への申請には、協会けんぽ長野支部の

「健康づくりチャレンジ宣言」にエントリーしていることが必須要件!!

「健康づくりチャレンジ宣言」
について詳しくはこちら



協会けんぽ2025(令和7)年度決算のお知らせ

2025年度の決算の概要

2025年度の決算は収入が12兆3,406億円、支出が11兆6,611億円、収支差は前年度から209億円増加し、6,795億円となりました。

保険料収入は、賃上げや被保険者数の増加により前年度比4,057億円の増加となりました。保険給付費は加入者1人当たり保険給付費が増加した影響で前年度比2,818億円の増加となっています。また、拠出金等は後期高齢者支援金が増加した影響で前年度比1,634億円の増加となりました。

※詳しくは、協会けんぽのホームページをご覧ください。

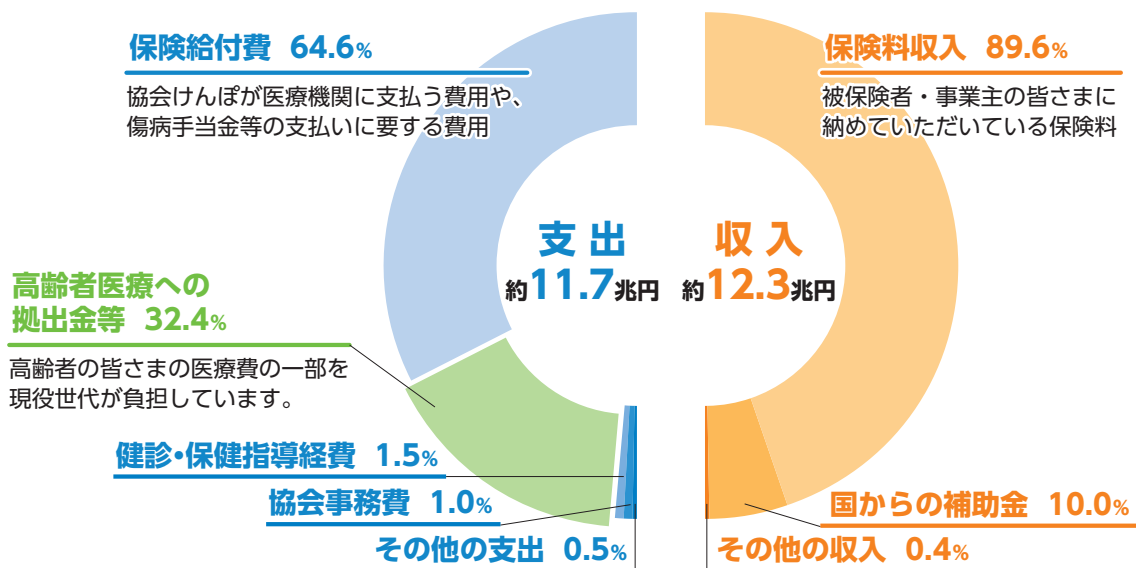
■ 2025年度決算 | 医療分

(単位: 億円)

収 入	保険料収入	110,546 (+4,057)
	国庫補助等	12,383 (+693)
	そ の 他	477 (+132)
	計	123,406 (+4,881)
支 出	保険給付費	75,369 (+2,818)
	拠 出 金 等	37,829 (+1,634)
	そ の 他	3,413 (+220)
	計	116,611 (+4,672)
単年度収支差		6,795 (+209)

※ () 内は、前年度比

※支出の「その他」は下図の「健診・保健指導経費」「協会事務費」「その他の支出」の合計



Q. 2025年度の決算は黒字でしたが、協会けんぽの財政は今後どのような見通しなのでしょうか？

A. 協会けんぽの財政は、当面、賃上げ等により保険料の増加が見込まれるものの、

- 現在の不安定な世界情勢が我が国の経済社会に及ぼす影響が不透明であり、これまでのような保険料収入の増加が中長期的に継続するか予測が難しいこと
- 協会けんぽ加入者の平均年齢の上昇や医療の高度化等により保険給付費の継続的な増加が見込まれること
- 団塊の世代がすべて後期高齢者になったことにより後期高齢者支援金の中長期的に高い負担額のまま推移することが見込まれること

等に留意が必要と考えています。

また、医療費については、物価や賃金、人手不足等の医療機関等を取りまく環境の変化に対応するため、2026(令和8)年度診療報酬改定において、診療報酬(本体部分)の改定率が3.09%(2026年度:+2.41%、2027年度:+3.77%)と高い伸び率とされ、2026年6月以降の医療費に反映されることなどから、今後の動向を注視する必要があると考えています。

※2026年度は平均保険料率を10.0%から9.9%に引き下げたほか、国から交付される国庫補助が2026年度から3年間減額されることとなっています。